



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、子どもたちの体調に注意を払いながら活動を進めています。

暑さから一転急に寒くなりましたが、そのような中でも子供たちは充実した毎日を過ごしており、地域の方々にも多くの場面で支えていただいていることに感謝を申し上げるところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

やきいも♪やきいも♪おなかがぐ～！



11月10日、清水高校で焼き芋をいただいてきました。

このさつまいもは春に年長さんが一緒に植えて、10月に収穫したもの！みんなで育てたさつまいもを高校生のお兄さんお姉さんが焼き芋にしてくれたのでした☺

ヤキイモくん1号・2号という焼き台で焼きあがったお芋はとっても甘くておいしかったです！みんなは「おいしい～！」「まだまだ食べられる！」とおかわりが止まらず、最初は少し冷ましたほかほかお芋でしたが最後は冷ます時間もなく、あつあつのお芋をはふは





ふしながら食べていました♪
自分で育てる楽しさ、そしておいしさ
♡を存分に味わった子どもたちでした！
清水高校のみなさん、ありがとうございました。

御影こども園 サッカー教室♪



11月28日、十勝サッカー協会より中村コーチが来園し、サッカー教室が開催されました！年長児が参加し、良い汗を流しました！

動物氷鬼ごっこやボールキャッチなど体を動かしたりボールと触れ合ったりする楽しい時間を過ごし、大笑い！

体も温まって、子ども達も盛り上がってきたところで、ドリブルやシュートの練習、そしてゲーム！いつもはサッカー遊びはしない子どもたちも、コーチの楽しい指導で大盛り上がりでした♪

「今日たのしかったね～」と大満足の時間を過ごした子ども達でした♪



清水小学校

農家の仕事を実感、収穫体験！

JJA青年部の方の協力を得て、3年生が、清水町内のビート畑で収穫体験を行いました。

3年生の社会科では、農業に関わる学習があり、農家の方のくらしや工夫などを学びます。



青年部の方から、清水町には製糖工場があり、清水町内で栽培されたビートは製糖工場に運ばれることの説明を受け、子どもたちは、ビートが砂糖などの慣れ親しんだものの原料になること、町内で生産されたものが町内で加工されることを学び、一生懸命収穫を行いました。

手や足に土をたくさん着けながらも、ビートを一つ一つ手作業で収穫できた子どもたちは、とても満足そうでした。同時に、大きなビートを収穫することは大変で、収穫の苦労を実感していました。その後、青年部の方に、大きなトラクターで収穫する作業を見せてもらうと、子どもたちからは、「すごい！」と声があがりました。重機で収穫する農家の工夫やその利便性について、深く理解することができました。

今後も、子どもの実感の伴った深い理解を育む教育を、清水小学校は様々な場面で展開していきます。

御影小学校

「消防放水体験・写生会 1年」

この2学期は地域の方々のご協力を得て、様々な体験型の学習を行いました。



9月30日には、清水消防署御影分遣所のご協力を得て、消防車を御影小学校に動かしていただき、1年生が放水体験と消防車の写生会を行いました。実際に消防服を着てホースを使って放水体験をし、また、実物を前に一つ一つのパーツをよく観察し、消防車の特徴をよく捉えて絵を描くことができました。

「防災教室 4年」

10月9日には清水町役場総務課の防災担当の職員の方々が来校し、4年生を対象に防災教室を行いました。

非常食や簡易トイレ、段ボールベッド、個室確保のためのテントなど色々な防災グッズを紹介していくだくとともに、実際に作成し、使ってみる体験を行いました。

災害が起こった時に利用する避難所の生活の一部を体験でき、子どもたちは災害に対する意識を高めることができました。



「盲導犬学習 6年」



11月10日には清水町社会福祉協議会を通じて、北海道盲導犬協会の指導員の方を招き、盲導犬学習を6年生が行いました。

当日は盲導犬の「ホトリ」も来校し、子どもたちはアイマスクをし、盲導犬に誘導されて目的の場所まで進むことができました。環境整備や周囲の人たちの理解や声掛けが、住みよい社会につながることを子どもたちは身をもって感じることができました。

十勝清水学を含めた御影小学校の体験型の学習は、日常の生活では体験できない経験をすることにより、新たな発見をしたり、自分を見つめ直したりすることができ、とても貴重で大切なものです。保護者の皆様のご協力だけでなく、地域の関連機関のご協力も十勝清水学を進めるに当たって欠くことができません。学校を支えてくださる地域の方々には本当に感謝しかありません。

清水中学校

2学年 職場体験学習

10月30日町内の18事業所の職場で体験することができました。どの町内の職場でも快く中学生を引き受けいただきました。朝から夕方までの体験

となり生徒は様々なことを感じることができました。



3学年 総合的な学習「福祉講話」

12月2日家庭科の授業における「高齢者とのかかわり」について、外部講師として清水町役場の石川保健福祉課長をお招きし、清水町の福祉について学びを深めました。



御影中学校

2学年職場体験学習

10月23日、2年生が清水町内の各事業所において職場体験学習を行いました。

事前学習では、職業観や働く意義について学ぶとともに、履歴書（自己紹介シート）の作成を通して体験への意識を高めました。また、10月16日には

RISE おびひろ代表・丸山久美子様を講師に迎えて「マナー講座」を実施しました。礼儀作法や言葉遣いなど、社会人として必要な基本を学び、普段の学校生活を振り返りながら理解を深める機会となりました。



【マナー講座の様子】

体験当日、生徒たちは町内の医療・福祉・教育・農業・接客など多様な職場で活動しました。仕事の楽しさや難しさを感じながらも、緊張感をもって真剣に取り組み、充実した表情で学習に臨む姿が見られました。希望する職業でなくとも、働くことの意義や地域産業との関わりを理解する貴重な体験となりました。



【職場体験学習の様子】

事後学習では、体験を振り返りながらお礼の手紙を作成し、事業所へお届けしました。さらに、事業所ごとに学んだことをまとめ、発表を行うことで、働くことの意義や地域社会とのつながりについて理解を深めました。

今回の職場体験学習にあたり、学習の場を提供してくださった事業所の皆様、地域の皆様には、生徒への温かいご指導と励ましのお言葉をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

CS 委員会

学校と地域の連携について話し合う

本年度第2回 CS(コミュニティースクール)委員会は、清水地区は10月23

日に、御影地区は10月27日に、それぞれの小学校を会場に開催されました。

CS委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では令和元年から取り入れています。

まず、各こども園長及び各校長から経営方針に基づく実践状況について、様々な取り組みが進められ子どもたちが生き生きと生活している状況の説明がされました。



続いて、今回は清水町で現在推進しています小中一貫教育を推進している中で、学校と地域の連携についてをテーマにグループに分かれ意見を出し合いました。

まずは、清水地区では学校だけに任せののではなく地域のイベントを通して学ぶことや家庭でも親が背中を見せ導いていくことが大事だとの

意見もあり、地域や家庭と学校が協力しながら子どもを育していくことの大切さを述べられる意見がありました。

また、御影地区においては、子どもの意見を取り入れながら、今までの行事を熟成させたり、地域人材のさらなる活用した形で授業を進めてはどうかとの意見が出されていました。



今回のCS委員会の意見交換により、新たなものを行うのではなく、今あることを深めることにより子どもたちの育ちにつながるとの貴重な意見をいただきました。